

新分野製品の開発

ノベルティ製品の開発

川久保 正行・藤 靖之

今回、有田・マイセン姉妹都市30周年記念事業の有田雛のやきものまつりに出展協力のため、雛人形の製作を行い、有田町おこし支援を行った。また、癒しをテーマにノベルティ研究会と共同でオルゴールの製作を行い、求評活動が行われた。

1) 雛人形製作について

1. はじめに

当センターでは、ノベルティ産業の継承の必要性を認め、平成16年にノベルティ研究会を設立し、製品開発及び人材育成を目的に、肥前地区独自のノベルティ産業の確立を図ってきた。平成17年、有田町より雛人形製作の依頼があり、ノベルティ研究会と共同で、雛人形七段飾りを平成19年度に完成させ、有田雛のやきものまつりで展示し、有田町おこしの支援を行ってきた。

平成20年度は、有田雛のやきものまつり実行委員会より、有田・マイセン姉妹都市30周年記念事業で有田焼雛人形の出展を行いたいとのことで、雛人形の製作依頼が当センター及び柿右衛門窯に依頼があり、製作を行った。

2. 試作

今回、有田・マイセン姉妹都市30周年記念事業ということで、有田雛のやきものまつりにおいて、有田及び国立マイセン磁器製作所の雛人形を展示したいということで、当センターに新たな雛人形の製作依頼があり、型から本焼成まで当センターで担当。絵付けに関しては、柿右衛門窯に依頼された。

アイテムとしては、雄雛、雌雛、三方、ボンボリ、犬笥で上段1段の部分である。また有田を特徴付けるため、陶土は泉山陶土を使用し、釉薬に関しても、泉山釉石、泉山陶土、白川山土、天然柞灰をテストし、有田焼の昔から使われている原料を使用し製作した。

図1、2に有田の雛人形、図3にマイセンのひな人形を示す。



図1 有田の雛人形 本焼成後



図2 有田の雛人形 絵付：柿右衛門窯



図3 国立マイセン製陶所の雛人形

3. 展示

- ・「第5回 有田雛のやきものまつり」記者発表
(有田町)

期日 平成21年1月23日(金)

場所 有田町役場

内容 有田雛のやきものまつりのイベント内容紹介
柿右衛門窯・国立マイセン磁器製作所の雛人形のお披露目 図4に示す。



図4 記者発表の様子

- ・「第5回 有田雛のやきものまつり」記者発表(東京)

期日 平成21年1月26日(月)

場所 京王プラザホテル(東京都新宿区)

内容 有田雛のやきものまつりのイベント内容紹介
柿右衛門窯・国立マイセン磁器製作所の雛人形のお披露目 図5、6に示す。



図5 展示



図5 記者会見の様子

- ・第5回 有田雛のやきものまつり

期日 平成21年2月11日(水)~3月20日(金)

場所 有田館および有田町内

内容 柿右衛門窯・国立マイセン磁器製作所の雛人形展示

世界最大の磁器製座り雛7段飾り

世界最大の磁器製立ち雛

磁器のミニ雛人形7段飾り

4. おわりに

今回、有田・マイセン姉妹都市30周年記念事業のなかで有田雛のやきものまつりに出展協力のため、柿右衛門窯と共同での雛人形を製作した。国立マイセン磁器製作所の雛人形と一緒に有田館での展示がなされた。また、昨年度までに完成された大型座り雛七段飾り、立ち雛セット、ミニ雛人形七段飾りが展示された。期間中、2万人程度の人出があり、昨年とほぼ同じ集客があった。ただ、他の地区の雛人形祭りで人出が減少している中、関係者の中では上出来であったとのこと。広報実績として、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等の取材がなされ、また旅行業者の対応も多く、集客にもかなりの効果があったと思われる。また、記者発表も有田と東京の2箇所で行われ全国的に雛のやきものまつりの広報がなされたと思う。

町おこし事業支援としては、大成功であったと思える。また、柿右衛門窯、マイセン磁器製作所の雛人形製作により、有田ノベルティ製品の市場開拓がなされたと思う。

2) オルゴール製品の開発

1. はじめに

ノベルティ産業育成を目的に、今回癒しをテーマにし、音、光、かおりの3要素をもつオルゴールの製作をノベルティ研究会(5社)と共同で行った。開発にあたり、研究会においては中小企業活路開拓調査・実現化事業の取り組みの中で行われた。

癒しのテーマの中に、LEDを光源とした照明、アロマを利用した香り、電池式オルゴールを使用した音を組み合わせ、ハイテク技術と有田焼の透光性をコラボレートした「癒しのやきもの・LED発光アロマオルゴール」の開発を行い、新分野の開拓に取り組んだ。

2. 試作

内部構造で光のLED、香りのアロマ・ファン、音のオルゴールを小さく高性能なものを選びコンパクトな配列を考えた。内部機器の配列を2パターン(直列、並列)に配置し、それぞれのサイズにあう形を試作した。

オルゴールについては、大手メーカーであるサンキョウに訪問、調査を行い機種を決定した。

LED照明については、(株)アオキに委託され、特注で製作された。図1~5に工程を、図6、7に内蔵メカを、図8~12に試作品を示す。



図2 石膏型1



図3 石膏型2



図4 生地1



図5 生地2

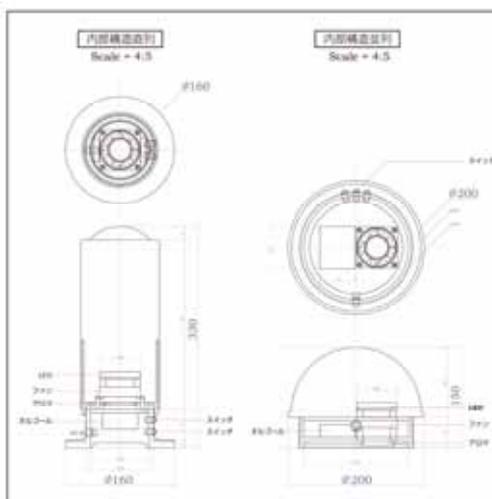


図1 2アイテムの図面



図6 内蔵オルゴール



図7 内蔵LED



図8 畑萬陶苑



図9 ヤマトク



図10 しん窯



図11 辻与製陶所



図12 アートヒルズ



図13 展示ブース



図14 展示品の様子

2. 展示会

名称：東京ミッドタウン・デザインハブ第 15 回

企画展 九州・ブランドデザイン 2009

日時：平成 21 年 2 月 7 日～3 月 1 日

場所：東京ミッドタウンタワー5F

会場にてアンケートを実施（回答者数 45 名）。まず有田焼、伊万里焼、肥前吉田焼が佐賀県にあることを知っている方は約 70% で食器以外の製品を持っている方は 40% で半数以下であった。今回の照明に関しては、磁器との相性がよいと答えた方が 95% もあり、またアロマに関しても約 87% もあったが、オルゴールとの相性は 58% 低くなり、また陶磁器のインテリア製品として癒しを感じた方は約 90% あり今後の製品開発の参考になった。ただし購入価格に対しては 1 万円以下と答えた方が 47%、3 万円までと答えた方が 25% もあり、製品化に向けての価格帯の検討が必要である。

図 13、14 に展示会の様子を示す。

3. おわりに

今回 2 アイテムのオルゴールを試作し、ノベルティ研究会会員による製作が行われた。しかし、今回の形状はプロトタイプで、製品化に向けて今後いろんな面で検討が必要である。しかし、展示会での評価は非常に高かった。今後は、大きさ、形、価格等模索しながら、商品化に向け技術指導、相談等支援を行いたいと思う。